

# 岡田 謙 三 KENZO OKADA

Paris  
Meguro  
New York

パ  
リ  
・  
目  
黒  
・  
ニ  
ュ  
ー  
ヨ  
ー  
ク

2  
0  
2  
6  
2  
/  
21  
sat



《間隔》1958年、油彩・キャンバス、220.5×172.5cm、目黒区美術館

5/10 sun

目黒区美術館

10:00-18:00 (入館は17:30まで) 月曜休館 (ただし2月23日 [月・祝]、5月4日 [月・祝] は開館、2月24日 [火]、5月7日 [木] は休館)  
一般900(700)円、大高生・65歳以上700(550)円、中学生以下無料

\*障がいのある方とその付添者1名は無料、( )内は20名以上の団体料金 \*目黒区在住、在勤、在学の方は受付で証明書類をご提示いただくと団体料金になります (他の割引との併用はできません)  
主 催：(公財)目黒区芸術文化振興財団 目黒区美術館 協 賛：(公財)北野生涯教育振興会 特別協力：秋田市立千秋美術館、横浜美術館

Meguro  
Museum of  
Art, Tokyo

## 展覧会概要

1920 年代のパリと 1950 年代以降のニューヨーク、この二つの都市で創作活動をし、さらに 1935 年には目黒区自由が丘にアトリエを構えて活動した画家・岡田謙三（1902-1982）。その作風はこれらの都市での経験に影響を受けながら形作られていきました。

岡田は、東京美術学校（現 東京藝術大学）入学から約 2 年後の 1924 年にパリへ渡ります。第一次世界大戦終結により、世界各国から芸術家が集い、活気に満ちたパリでの日々は、若き日の岡田にとって全てが新しく、視野の広がる経験となりました。モンパルナスのカフェなどに集まって議論していた芸術家たちの仲間に加わり、後に確立する抽象的な作風の基礎となる考え方にも触れ、さながら「心の訓練のようだった」と振り返っています。1927 年の帰国後は、戦前から戦後にかけての時代のうねりの中で、これまで培ってきた技巧や様式から離れ、新たに実験の日々を積み重ねていきます。戦後早々に見据えていた渡米を 1950 年に実現させると、ニューヨークでは抽象表現主義の画家と交流を持ちながら、やがて、淡い色面を組み合わせる独自の作風を確立させました。自身の根源的な感性への回帰の中に築き上げた静謐で力強い表現は、パリとニューヨーク、そして目黒のアトリエでの模索の日々を抜きに語ることはできないでしょう。本展は、岡田の画風の変遷を三つの都市での経験からたどります。

## 見どころ

岡田謙三記念館を有する秋田市立千秋美術館、出身地としてゆかりのある横浜美術館ほか、複数の公立美術館からの貴重な作品・資料と、当館のコレクションを合わせて、具象から抽象的な作風へと変遷していく岡田謙三の画業をご紹介します。

2m を越える大作が多数出品され、迫力のある展示となります。

画材や素材、コラージュやフロタージュ等のエスキース、友人・知人との交流が窺える写真資料など、人物像や制作の様子を伝える資料もあわせて展示します。

## 広報用画像一覧

### 渡米前の作風の変化（戦後～1949 年）

#### 目黒のアトリエで制作された 初期の具象絵画（1930 年代）



① 岡田謙三  
《巴里風景》1938 年  
油彩・キャンバス  
53.0×65.2cm  
秋田市立千秋美術館蔵



岡田謙三  
《シルク》1947 年  
油彩・キャンバス  
202.0×321.0cm  
横浜美術館蔵  
②（岡田きみ氏寄贈）

岡田謙三  
《五人》1949 年  
油彩・キャンバス  
202.2×319.2cm  
目黒区美術館蔵 ③



# ニューヨークで花開いた「幽玄」の世界（1950～1982年）

岡田はアメリカで、自身の芸術を方向付けるキーワードとして「ユーゲニズム」（「幽玄」を元にした岡田による造語）を打ち出しました。幽玄とは、奥深く微妙で、容易にはかり知ることのできないこと。また、あじわい深いこと。情趣に富むことという意味です。



④ 岡田謙三  
《竹》1952 年  
油彩・キャンバス  
144.5×83.2cm  
秋田市立千秋美術館蔵



⑥ 岡田謙三  
《朱》1962 年  
油彩・キャンバス  
205.2×104.2cm  
秋田市立千秋美術館蔵

岡田謙三  
《ダブル・ランドスケープ》  
1974 年  
油彩・キャンバス  
198.0×458.0cm  
群馬県立近代美術館蔵



⑦ 岡田謙三  
《間隔》1958 年  
油彩・キャンバス  
220.5×172.5cm  
目黒区美術館蔵



⑨



岡田謙三  
《黒と象牙色》1955 年  
油彩・キャンバス  
182.5×215.5cm  
横浜美術館蔵 ⑤



⑧ 岡田謙三  
《風 No.2》1969 年  
油彩・キャンバス  
208.0×127.0cm  
秋田市立千秋美術館蔵



## 開催情報

タイトル 岡田謙三 パリ・目黒・ニューヨーク

会 期 2026 年 2 月 21 日(土)ー 5 月 10 日(日)

会 場 目黒区美術館 (東京都目黒区目黒 2-4-36)

開館時間 10:00ー18:00 (入館は 17:30 まで)

休 館 日 月曜日 (ただし、2/23(月祝)と 5/4(月祝)は開館、2/24(火)と 5/7(木)は休館)

観 覧 料 一般 900(700)円、大高生・65 歳以上 700(550)円、中学生以下無料

※障がいのある方とその付添者 1 名は無料、( )内は 20 名以上の団体料金

※目黒区在住、在勤、在学の方は受付で証明書類をご提示いただくと団体料金になります  
(他の割引と併用はできません)

主 催 公益財団法人 目黒区芸術文化振興財団 目黒区美術館

協 賛 公益財団法人 北野生涯教育振興会

特別協力 秋田市立千秋美術館、横浜美術館

交通機関 JR 山手線・東急目黒線・東京メトロ南北線・都営三田線 「目黒」駅(西口)から徒歩 10 分

東急東横線・東京メトロ日比谷線 「中目黒」駅から徒歩 20 分

東急バス 「権之助坂」(目黒通り)下車徒歩 5 分、「田道小学校入口」(山手通り)下車徒歩 3 分

## 関連催事

## ■大人ののための美術カフェ

本展を担当した学芸員が展覧会の見どころなどについて話します。

日時: 3 月 22 日(日) 14:00ー15:00 頃

場所: 目黒区美術館 1 階ワークショップ室

参加方法、定員: 当日先着順 (30 名程度)

## ■講演会「48 歳からの挑戦」

「岡田謙三展」(2003~2004 年、横浜美術館ほか)を担当された講師をお招きし、  
岡田謙三が 1950 年代初期に編み出した制作手法や様式などについてお話いただきます。

日時: 5 月 2 日(土) 14:00ー15:30

場所: 目黒区美術館 1 階ワークショップ室 参加方法、定員: 当日先着順 (50 名程度)

講師: 横浜美術館 副館長・主席学芸員 柏木智雄

\*いずれの催事も当日有効の観覧券が必要です。

この他にも、同時期開催 **ワークショップ 2026 春**で展覧会に関連したワークショップ等を開催予定です。  
詳しくはホームページなどをご覧ください。

## 広報用写真

本リリース掲載の図版 ①~⑨を本展広報用写真としてご提供いたします。

ご希望の方は、申込用紙(5 ページ目)の内容をご確認の上、必要事項をご記入いただき、  
FAX でお申込みいただくか、同内容を本展担当者宛メールにてお申し込みください。

## 本展の問合せ先

目黒区美術館 展覧会担当(学芸) 誉田 / 広報担当(事務) 竹森・丸

〒153-0063 東京都目黒区目黒 2-4-36 tel. 03-3714-1201(代) fax. 03-3715-9328

e-mail: mmatoffice@mmat.jp https://www.mmat.jp

## 岡田謙三 パリ・目黒・ニューヨーク 広報用画像申込書

宛先：目黒区美術館 岡田謙三 パリ・目黒・ニューヨーク 担当者 宛

FAX：03-3715-9328 E-mail：mmatoffice@mmat.jp

- 本票に必要な事項をご記入のうえ、上記宛先まで FAX でお申し込みいただくか、メールにて本票と同内容の事項とご希望の図版番号をお知らせ下さい。掲載紙・誌を1部ご寄贈くださいますようお願い申し上げます。

お申し込み日	年 月 日		
御社名 ご担当者氏名			
住所	〒		
TEL		FAX	
E-mail			
掲示媒体名 (雑誌名など)			
メディアの形態	【紙媒体】 新聞 / 雑誌 / ミニコミ誌 / フリーペーパー / その他 ( ) 【電子媒体】 テレビ / ラジオ / WEB サイト / 携帯サイト / その他 ( )		
発行・放送予定日	年 月 日		
ご希望の画像	図版番号 ①～⑨のご希望の図版番号をご記入ください 使用条件等 *写真画像への文字載せは不可です。 *原則、写真の画像加工(トリミング・色調整など)は不可。 但し、モノクロで使用する場合は、コントラスト、ガンマ値の適宜調整を許可する場合があります。 *各作品のキャプション及びクレジットを必ず明記してください。		
連絡欄			

- お申し込み受け付け後、画像データ(JPEG)のダウンロード先を返信でお知らせいたします。  
お手元の環境等によりダウンロードできない場合は別途ご連絡ください。
- 使用にあたっては、【広報用画像について】の内容をご了承いただくことが条件となります。  
必ずご確認ください。

### 【広報用画像について】

- ・画像データはメールにて送付いたします。
- ・画像は展覧会紹介の目的のみにご使用ください。
- ・データを第三者に渡すことは禁止いたします。
- ・使用後、データは破棄してください。
- ・展覧会の名称、期間、会場などの情報は分かりやすく掲載してください。
- ・画像への文字載せは不可です。
- ・画像使用の際は、キャプション、クレジットを明記してください。
- ・掲載誌(紙)は1部、当館担当者までお送りください。
- ・Web サイトは公開後に URL をお知らせください。
- ・当館が掲載内容を確認できるように、掲載前に校正をお送りください。

◎ 本展を紹介して下さる媒体には、展覧会の招待券(5組10名様)を読者プレゼント用に提供いたします。  
ご希望の方は下記にご記入ください。

読者プレゼント用招待券を [ 希望する ・ しない ]

< 広報用画像に関する問い合わせ先 >

目黒区美術館  
TEL.03-3714-1201 / FAX.03-3715-9328  
展覧会担当：(学芸) 菅田  
(広報・事務) 丸・竹森